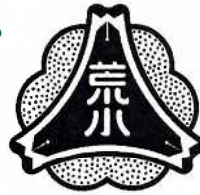


# チャレンジ ～挑戦～



荒井小学校 学校だより

令和 6年 8月22日  
第 6 号  
文責：校長 星 秀文

教育目標 「かしこく、やさしく、たくましく」

## 第2学期開始！ 元気な声が帰ってきました！



8月22日(木)、子どもたちの元気な声が学校に帰ってきました。夏休み中は大きな事故もなく子どもたちが元気に過ごすことができたのも、保護者の皆様、地域の皆様のご協力のおかげと心から感謝しております。ありがとうございました。

2学期は、一年で一番長い学期です。それだけに子どもたちが心身共に成長する絶好の学期でもあります。一人一人が充実した2学期を過ごすことができるよう、教職員一同精一杯がんばっていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、始業式で、子どもたちに「リーダー・イン・ミー」について話をしました。それは

## 「信頼貯金」をふやそう！

です。

終業式の時に話をした第1の習慣「自分で考えて行動する」、第2の習慣「ゴールを決めてから始める」、第3の習慣「大切なことを優先する」、この3つの習慣は、木で例えるなら地面の中にしっかりと張っている「根っこ」の部分です。人間で言うなら、自分の内面がしっかりと磨かれ、自立して生きることができる状態です。

これを「私的成功」と呼びます。

そこから第4の習慣「Win-Winを考える」、第5の習慣「わかってあげてからわかってもらう」、第6の習慣「シナジーをつくりだす」を学んでいきます。これは、木で例えるなら、地面の上に姿を現している「幹や枝葉」の部分です。人間で言うなら、社会や人間関係の部分にあたります。周りの人たちと助け合ったり力を合わせたりして、大きな成果を生む状態です。周りの人と力を合わせることができる人は、自分の力を一層発揮できます。一人ではできないような大きな成果を生むことだってできます。

これを「公的成功」と呼びます。

そしてこれら全てを取り巻いているのが第7の習慣「自分を磨く」です。根も、枝葉も、この木全体を成長させてくれる存在です。

この「私的成功」と「公的成功」をつなぐものが「信頼貯金」です。相手の心の中に自分の信頼を預け入れ、自分への信頼度を大きくするという事です。「信頼貯金」を増やすために、どんなことをすればよいか、いくつか紹介しましたが、これはすでに子どもたちも分かっているし、普段から行っていることです。

この「信頼貯金」を毎日の学校生活の中でたくさん増やして大きな成果や達成感を味わってほしいと思います。



## <第二学期始業式から>

33日間の夏休みが終わり、この場に全校生のみなさんがそろったこと、校長先生はとても嬉しいです。みなさん、夏休みは楽しかったですか？充実した休みを過ごすことができましたか？もっと休みたかっと思っている人も多いでしょう。でも学校があるからこそ、休みがとっても大事に思えるんですね。みなさんが夏休みに体験したこと、思い出に残っていることを、ぜひ学級で先生や友達に教えてください。



1学期の終業式に話をした、**第1の習慣から第3の習慣**「自分で考えて行動する」「ゴールを決めてから始める」「大切なことを優先する」は、できたでしょうか？この3つは木に例えるなら、**地面の下にしっかり生える「根っこ」**です。これが習慣になると、自分の心がどんどん磨かれて、自分のことは自分でできる人になります。これからも続けましょう。

さて、今日から2学期がスタートします。

校長先生からは、2学期の始まりにあたって、みなさんに取り組んで欲しいことをお話しします。

それは、「**信頼貯金**」を増やすということです。

「みんなと仲良く協力する」こと、これが学校生活でも社会に出ても一番大切です。そのためには自分と相手の間に「**信頼関係**」が必要です。信頼は、お金のようにためることができ、それが「**信頼貯金**」です。あなたの信頼は、**相手の信頼口座**にたくさん預け入れすることができます。たくさん貯まれば貯まるほど、何か困ったことがあったときに、助けてもらったり、足りないものを補ってもらったりできます。

どうすれば信頼貯金を増やせるでしょう？

それは、「**優しくする**」「**約束を守る**」「**話を聞く**」「**いやがることをしない**」等、**相手のため、またはみんなのためによりよいことをすること**ですね。いつもと様子が違うなどと思ったら、声をかけるなど**ちょっとした気遣いも信頼を高めます**。

「**ありがとう**」「**すごい**」。この言葉も相手の信頼貯金を増やすことができます。

「できる」も**相手に「できるよ」と言葉をかけてあげる**といいですね。

でも、お金と違うところは、**自分が減らしたつもりがなくてもちょっとしたことで減ってしまう**ということです。信頼が減ると、助けてもらったり補ってもらったりはしてくれません。

どうすれば信頼貯金は減ってしまうでしょう？

それは、「**冷たくする**」「**約束をやぶる**」「**話を聞かない**」「**いやがることをする**」等、自分さえよければいいことをすれば、簡単に減ります。「ありがとう」も言わない、がんばっていても「**たいしたことないね**」と言い、相手に「**できっこないよ**」と声をかければ、信頼貯金はあっという間にからっぽです。

みなさんはどちらがいいですか？信頼貯金を増やしますか？それとも減らしますか？



もちろん増やしたいですね。わざと「減らしたい」なんて言う人はいないと思います。

実りの2学期。一人だけでは何もできません。みんなを力を合わせ、達成感を味わいましょう。そのためにも、「**信頼貯金**」をどんどん貯めて、「**友達っていいな**」「**仲間っていいな**」「**自分の学級が最高だ**」と、ますます思える2学期にしてほしいと思います。

以上で校長先生のお話を終わります。